

がつ きゅうしょく

1月給食たより



2019年

明けましておめでとうございます。
 いよいよ1年の締めくくりとなる3学期が始まりました。規則正しい生活を心がけ、寒い冬を元気に過ごしましょう。

1月17日は「おむすびの日」



平成7年1月17日、「阪神・淡路大震災」が起きました。食べ物もなく、不安でいっぱいだった被災者を救ってくれたのが、炊き出しで配られたおむすびや豚汁です。猪名川町の給食センターでも、朝昼夕おむすびを作り、他の市に配りました。その後、炊き出しをしてくれた方への感謝を忘れないため、お米の大切さや食生活について見直すための日として「おむすびの日」ができました。震災から24年、改めて食べ物や危機管理の大切さについて考える一日にしましょう。

“食の備え”を考えよう！

災害が起きた時、食料を運ぶことができない、食料が売り切れる、避難生活を送る、外出ができない場合もあります。このような状況になっても困らないように食料を備えておく必要があります。

水	米	缶詰	カセットコンロとカセットボンベ
飲み水と調理などに使う水を合わせて、1人当たり1日3リットルあると安心。 	主食（炭水化物）として備える。2kgの米1袋があれば、約27食分（1食=0.5合=75gで計算）になる。 	主菜（たんぱく質）になる物、そのまま食べられる物を備えると良い。 	電気やガスが止まっても、食品を温めたり、米を炊いたり、簡単な調理をすることができます。

全国学校給食週間

1月24日～30日

全国学校給食週間は昭和25年度から始まった取り組みで、毎年学校給食への理解や関心を深めることを目的に実施されます。昔、学校給食は栄養状態を改善させるためのものでした。現在では、子どもたちが望ましい食習慣や食に関する正しい知識、実践する力を身につけるための役割を担っています。

今年は兵庫県産の食材

北が日本海、中央の山間部、南は瀬戸内海から太平洋へと続く兵庫県。多様な気候と風土に恵まれた地形です。兵庫県の自然豊かな恵みが給食週間に登場します。



猪名川小学校3年生が大根収穫を体験

昨年12月10日（月）、生産者の北山純也さんにお世話になり、猪名川小学校3年生が給食に使用する大根130kgを収穫をしました。9月の台風で畑が水に浸かる事態になりましたが、立派な大根ばかりで子どもたちは大喜び。ちょっと形が変わった大根は普段スーパーでは見かけることができないので人気でした。

子どもから、「台風で畑が水に浸かった時どう思いましたか？」という質問に、「天災なので、作物がダメになることは仕方がない。でも、土が流れてしまわないことを願ってました。」農業を通じて、生産者の思いを知ることができました。

